

# 共に歩む



# それぞれが自分にできる最上級の看護を提供し、 すべての患者さんに「安心」を提供できる看護を実践しています。

患者さんの個別性を尊重し、看護師一人一人が責任を持ち、患者さん・家族に安心いただける看護が提供できるよう取り組んでいます。看護師も自己の目標を持ち、看護の喜びを実感しながら患者さんと共に成長できるよう看護体制の充実に力を注いでいます。患者さん自身が健康回復や維持に対して自立できる援助が行なえるよう、インフォームドコンセントに基づいた看護を提供しています。



## すべての患者さんに安心を

病院データ	開 設	昭和58年4月1日
	開 院	昭和58年10月1日
	病床数	618床
	診療科	31診療科
	職員数	約1,900名(看護職員約780名)
	外来患者数	約1500名(1日平均)
	入院患者数	約500名(1日平均)



## 患者さん一人ひとりの健康問題を解決するために、 患者さんと共に考え看護を提供します。

看護部データ	看護体制	一般病棟7対1
	看護提供方式	担当制+チームナーシング
	勤務体制	2交替制度
	教育体制	キャリア開発ラダーシステム
	新人教育	プリセプター制度



### 【看護部長からのメッセージ】

### 対話で紡ぐその人らしさを大切にした看護

当院看護部では、「すべての患者さんに安心を」の病院理念のもと、患者中心の医療・看護の提供を目標に掲げています。患者さんに対し24時間常にケアを提供し続ける私たち看護職は、対話を通し安心や安らぎを届けることができ、これは敬意のこもったケアへとつながります。患者さんとの対話を通し、患者さんが求めていることや患者さんにとっての最善を知り、より良いケアにつなげるために取り組んでいます。また当院は、県内唯一の大学病院および特定機能病院として、高度な医療を担う役割があります。高度な医療を提供するには、看護師として学びチャレンジする姿勢が求められます。看護職として多様な経験を重ね、自分自身のキャリアを歩んでいくことを大切にしています。

副病院長兼看護部長 杉田 俊江

# 主体的な看護師を育成するためのサポート体制が充実

私たち看護部は、看護師一人ひとりが主体的に学ぶことを大切に、教育と研究に力を入れています。

新人看護師の教育から継続教育、専門看護師の育成まで、看護師一人ひとりが自己成長できる環境を提供しています。

また、看護の質を向上させるための研究活動も積極的に行っています。



信頼と誠実を基盤にした人対人の関わりを大切に、  
看護の専門性を高める看護職の育成に注力します。

## 新人サポート体制 | プリセプター制度

先輩看護師(プリセプター)がマンツーマンで、新人看護師(プリセプティ)の指導や相談にあたります。

### プリセプティからのメッセージ

#### 業務の流れ、看護技術、 心強い先輩の存在

プリセプター制度では、先輩看護師が一对一で指導をしてもらえるため、仕事とメンタルの両面で細やかなフォローをしてもらえることが良かったです。特に入職後最初の1週間はプリセプターの先輩について回り、一日の業務の流れや看護技術を学ぶことができるため、スキルアップにもつながります。プリセプターの先輩にはいつも困ったときに相談でき、精神的にもサポートしてもらえる存在です。自分だけでは改善策が見つからないことでも、先輩に相談して一緒に考えてもらうことで解決することが多々あります。いざというときに相談できる、頼れる先輩がいるので心強いです。



### プリセプターからのメッセージ

#### 自分自身も刺激を受け 共に成長していることを実感

プリセプティが安心して働くことができるように、自分から積極的に声をかけ、支えてることを心掛けています。プリセプティが患者さんに一生懸命に向き合う姿を見ると、成長を感じて嬉しくなると同時に、その姿に自分自身もよい刺激を受け、プリセプティと共に成長していることを実感します。入職後は不安も大きいと思いますが、私たちプリセプターが皆さんの成長をサポートします!どうぞ安心して入職してください。



## 新人看護師教育プログラム



## 教育体制 | キャリア開発ラダーシステム

個々の成長に合わせ、看護師のスキルアップを図り、主体的に学習できるプログラムを用意しています。

専門職としてステップアップできるよう病院全体でサポートしていきます。



## あなたのやる気を応援するキャリアサポート

私たち看護部では、看護師として多様な経験を重ねる中で、大切な人とのつながりや生活とのバランスも図りながら、興味や関心のある分野に対し、主体的にチャレンジしていくことを応援しています。様々な経験を通し、人として、看護師として成長していくことを大切にしています。



院内助産

リスクの少ない妊産婦さんを対象に、助産師主体で妊娠・分娩・産褥の助産ケアを行います。医師とは常に情報共有を行い安心できる体制で、院内助産を実施できる資格を持った助産師が中心となり、産婦さんのペースに合わせて、妊娠・分娩・産褥期のケアを実施しています。



特定看護師

私たちはICUで特定看護師として働いています。患者さんの状態を看ながら薬剤の投与量や人工呼吸器の設定の変更など、医師が行う行為の一部を実施しています。また、スタッフが安心して看護ができるように教育にも力を入れて活動しています。



大学院進学

これまでの研究で明らかにされたことを活かし、実践の場面で疑問や問題を解決する力を身に付けたいと思い大学院に行くことを決めました。仕事を続けながら自分のペースで学習が続けられる環境です。

LTFU(移植後長期フォローアップ)外来は、同種造血幹細胞移植を行った患者さんを、医師・看護師が協働し、面談・診察している外来です。移植後の患者さんは、退院後も様々な合併症リスクや不安などを抱えています。LTFU外来では、退院後の患者さんの体調や、体調管理に必要な生活上の困り事について話を聞き、合併症の早期発見と共に、患者さんの社会生活を支えています。



看護師専門外来



認定看護師

私たちは病棟での看護実践を通して、感染管理の重要性を認識する場面に会い、感染管理をより深く学びたいと考え、職場の支援を受けながら感染管理認定看護師の資格を取得しました。現在、院内外で感染管理の実践・指導・相談業務を行い自分自身の成長とともに、やりがいにも繋がっています。常に最新の知識と技術を習得し、質の高い医療を提供するために多職種と協働し活動しています。



専門看護師

日々の看護実践から老人看護に関心を持ち、老人看護専門看護師を目指しました。日頃のケアの中で疾患や問題に焦点を当て、高齢者を意思ある人として尊重し、支えることをチームで共有しながら活動しています。



DMAT

ICUやERで勤務する中で救急や災害医療に興味を持ち災害や事故に関する知識や対応、救命処置を極めたいと思い、DMAT(災害医療派遣チーム)に志願しました。また、災害や事故が起きた時に被害にあった方達の心の支えになれるよう活動しています。

山梨大学医学部附属病院は県内唯一の大学病院として、安全・親身・高度な医療を実践し、ひとつのチームとして多職種で協働し、それぞれが最上級の看護を提供することを目指します。



### 呼吸ケアチーム

医師・看護師・理学療法士・臨床工学士の多職種チームで回診を行い、人工呼吸器装着中の患者さんの人工呼吸器からの早期離脱、早期回復を目指し介入を行っています。チームの回診では、人工呼吸器装着中の患者さんの安全管理、リハビリテーションの促進、人工呼吸器の設定や排痰ケア、酸素療法に関する助言等を行っています。また、人工呼吸管理だけでなく、患者さんが体験している様々な痛みや、ストレスなども緩和できるよう多職種と連携し取り組んでいます。



### 認知症ケアチーム

医師・看護師・精神保健福祉士の3名で、週1回以上のチームラウンドや病棟看護師とのカンファレンスを通して、認知機能が低下している患者さんの意思や価値観を尊重し、多職種と連携を図り、患者さん・ご家族が安心できる環境で適切なケア・治療を受けられるように支援しています。また、患者さんの意思決定支援や退院後の生活を見据えた支援への相談に応じると共に、職員への認知症に関する教育も実施しています。これからも、患者さんの人生観、価値観、どのように生活したいか、などの「人を知る」ことを通して、その人らしく療養できるような支援に努めています。



### 緩和ケアチーム

緩和ケアはがんと診断されたらはいまと言われています。当院はがんに限らず、全ての患者さんのつらさとして疼痛や呼吸困難、全身のだるさなどの身体の苦痛や、不安、抑うつなどの精神的な苦痛、家族や経済面などの社会的な苦痛、自己の存在の意味や価値の苦悩などのスピリチュアルな苦痛を理解し、症状をやわらげ最後まで希望をもちその人らしく生きることを支えるチームです。チームは医師・看護師・薬剤師・栄養士・心理士など多職種で構成され、みんなで協力し合い患者さんやご家族と共に、療養環境を考え、よりよく最期まですごせるよう全力で病院スタッフと共にサポートしています。



### 排尿自立支援チーム

尿が漏れてしまう、出づらいなど、人には言いつらい排尿の悩みを抱えている患者さんに対し、医師・看護師・理学療法士・作業療法士がチームとなり介入しています。排尿は基本的なニーズであり、排尿障害は精神的苦痛だけではなく社会生活を制限し、QOLに大きく影響します。患者さんが早期に尿道カテーテルを抜き、排尿の自立を取り戻せるよう、入院から外来まで全力でサポートしています。



### 糖尿病透析予防診療チーム

医師・管理栄養士・専任看護師の三職種により、糖尿病合併症進行による透析導入予防を目的として、外来指導をしています。糖尿病腎症2期以上の方を対象に、それぞれの方の腎症病気に合わせた糖尿病予防のための指導計画を作成し、指導計画に沿って個別指導を行っています。具体的には、腎症病期、食塩制限及び蛋白制限等の食事指導、運動指導、その他生活習慣に関する指導や生活相談等です。患者さんやご家族と話し合いながら、実践可能な方法を提案しています。



### 精神科リエゾンチーム

医師・看護師・公認心理師で構成され、それぞれの専門性を活かし、多職種チームとして活動しています。(リエゾン)とは、フランス語で「連携・橋渡し・つなぐ」を意味します。精神医療と身体医療をつなぎ、患者さんへの包括的な医療を目指して、診療科の医師や病棟の看護師と情報を共有し、連携して取り組んでいます。患者さんが安心して必要な治療を受けられるように、健康の回復と社会復帰を見据えてサポートしています。



### 栄養サポートチーム

栄養サポートチームは、医師・看護師・栄養士・薬剤師が連携し、病状や治療に応じた適切な栄養サポートを行い、患者さんの回復を支援しています。栄養は、身体の回復にとても重要な要素で、「栄養管理は全ての医療の基本」とも言われています。そのため、患者さんの栄養状態を把握し、病状・治療に応じた栄養サポートを行っております。患者さん一人一人に合わせた食事内容、栄養補助食品サポート、処方および点滴の提案や栄養管理計画を提供しています。



### 褥瘡対策チーム

皮膚科医師・看護師・管理栄養士・薬剤師・理学療法士・作業療法士の多職種のメンバーで構成してチーム回診を行っています。入院中の患者さんの自重関連褥瘡(床ずれ)・MDRPU(医療関連機器褥瘡)の予防の活動をしています。褥瘡を有した場合は、治療方法等を患者さんの状態に合わせて、各専門家が知識および技術を集合させ支援しています。また患者さんの皮膚の健康を守るために病院スタッフ一同で支援できるよう活動しています。



### 術後疼痛管理チーム

手術を受ける患者さんの多くは術後の痛みについて不安や心配を抱えている方が多いと思います。術後疼痛管理チームでは、そのような術後の疼痛に対して専門的に関わるチームです。チームのメンバーは麻酔科医師、専門の研修を実施した看護師と薬剤師になっています。術前から患者さんの術後疼痛に対して関わり、患者さんが早く回復できるように担当医師や看護師と協力しながら活動しています。



UNIVERSITY OF YAMANASHI HOSPITAL 看護部  
山梨大学医学部附属病院

〒409-3898 山梨県中央市下河東1110  
TEL055-273-9183 医学域事務部総務課人事グループ



公式HP